



●この説明書は、必ず取付けされる方へお渡しください。

■取付けられる方へのお願い

●本説明書で使われているマークには、以下のような意味があります。

▲注意 …取付けを誤った場合に、使用者が中程度の傷害・軽傷を負う危険又は物的損害の発生が想定されます。冒頭にまとめて記載していますので必ずお読みください。

▲注意

※製品破損による人への被害、物的損害が想定されますので、下記事項をお守りください。

■設置条件

●母屋の屋根からの雪が直接当たらない場所に設置してください。

●本製品は一般敷地用600形です。

一般地域用 600形…積雪20cm以下の地域

●本製品は地面設置専用です。2階以上の高所に取付けると、強風により製品が破損するおそれがあります。

●柱の移動は、当社指定範囲内にしてください。

●崖などの高低差のある場所には設置しないでください。

■部材の固定

●タッピンねじの下穴には、指定より太いドリルを使用しないでください。

($\phi 4$ のねじに対し $\phi 3.5$ 、 $\phi 5$ のねじに対し $\phi 4.5$ のドリルを使用してください。)

●必ず指定の組立てねじ・ボルトを使用してください。又、取付け後、ねじ・ボルトに緩みがないか点検してください。

■取付け時の足場について

●取付け時は、製品の屋根には絶対にのらないでください。

■基礎について

●基礎の大きさは、指定寸法以上にしてください。

●寒冷地で凍上するおそれのある地域で使用する場合には、凍上線の下まで基礎を設けてください。

●地下埋設物（給排水管など）に影響を与えないようご注意ください。

●コンクリート（又はモルタル）には海砂や急結剤は絶対に使用しないでください。アルミが腐食するおそれがあります。

●柱内の水抜きができるよう、柱基礎には必ずぐり石を敷いてください。又柱の根元にも水抜き穴（ $\phi 6$ ）をあけてください。柱内の水が凍結膨張し、柱が破損するおそれがあります。

●養生期間は十分（4日～1週間以上）とり、その間重いものをのせたり、振動させたりしないようご指示ください。

■絶縁処理について

●アルミ形材が亜鉛・ステンレス以外の金属と接触する場合は、絶縁処理をしてください。

■屋根材について

●屋根材は当社指定品をご使用ください。

■取付けについて

●むやみに改造・変更（階段屋根・母屋への取付け・四周の囲いなど）をしないでください。

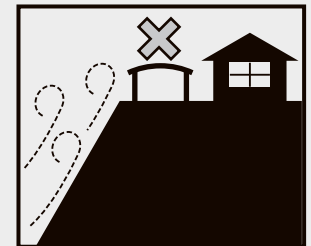
●取付けは取付け業者の方以外は行わないでください。不具合発生の原因となることがあります。

●シーリング指定個所には必ずコーキング材を充てんしてください。

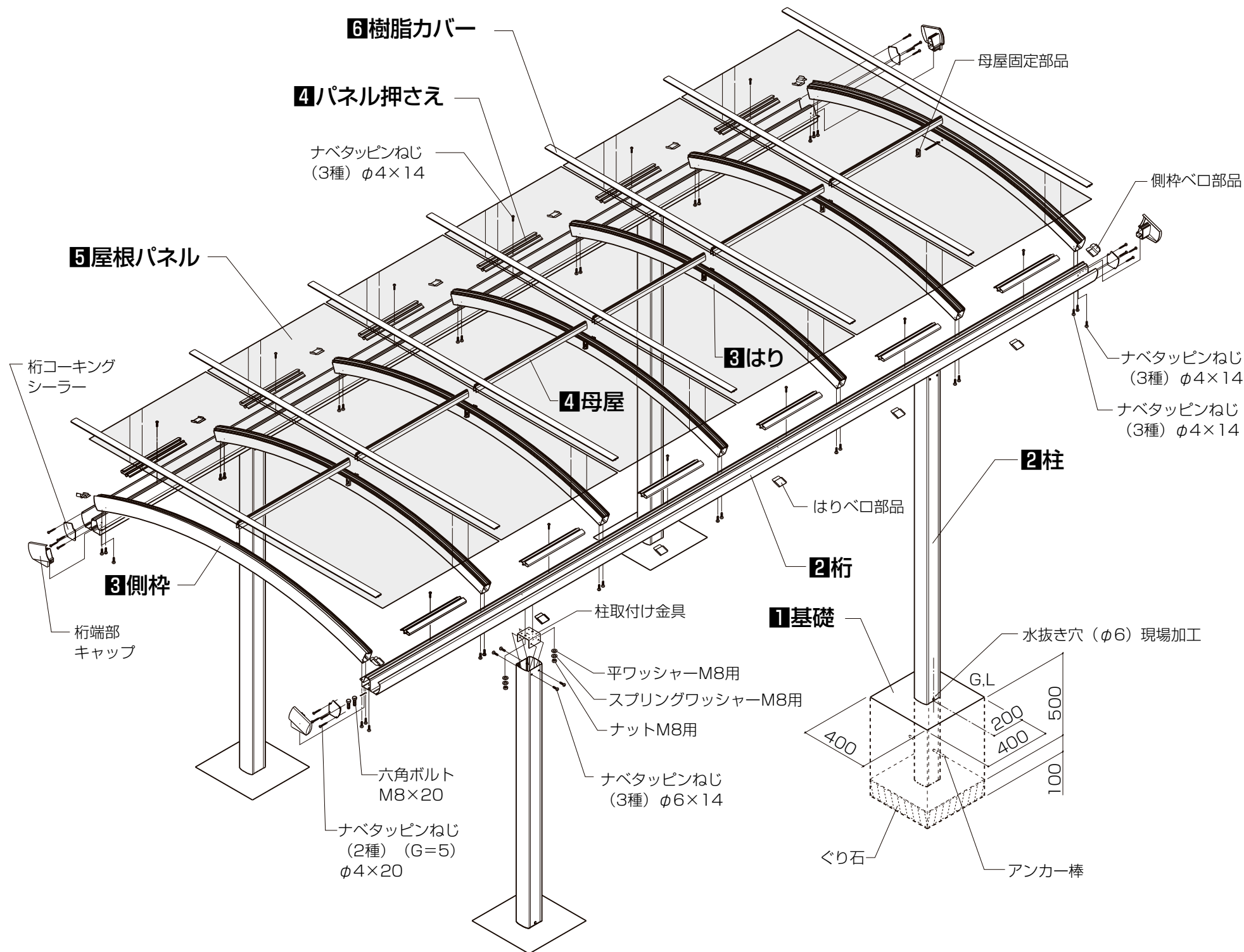
●電灯線などの電線を巻き付けないでください。漏電するおそれがあります。

●当社指定の付属品以外は取付けしないでください。

●屋根の上に物をのせないでください。

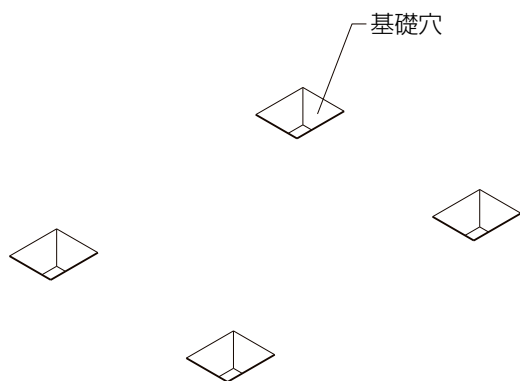


■構造説明図

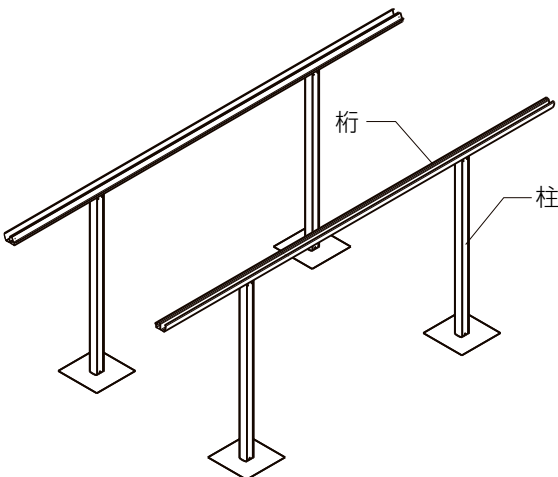


■取付け順序 (基本タイプ)

1 基礎の施工



2 柱と桁の取付け



■取付け詳細 (基本タイプ)

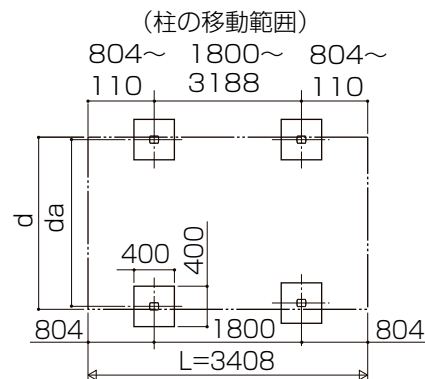
1 基礎の施工

●柱埋込み位置を出し、基礎穴を掘込みます。

■墨出し位置

※屋根端部より、34サイズは411～597、51サイズは746～932の範囲は、桁水抜き穴と干渉するため柱移動できません。

●34サイズ



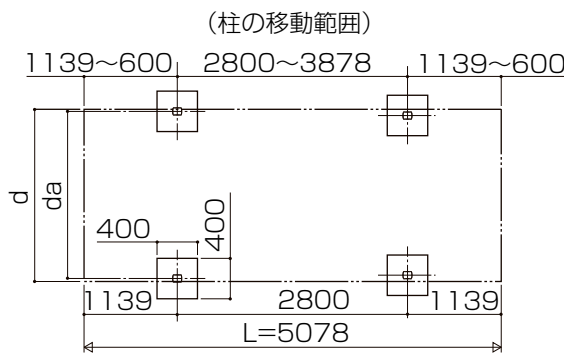
2 柱と桁の取付け

※取付け現場の状況に応じて屋根材の水こう配をどちらに取るか決定してください。

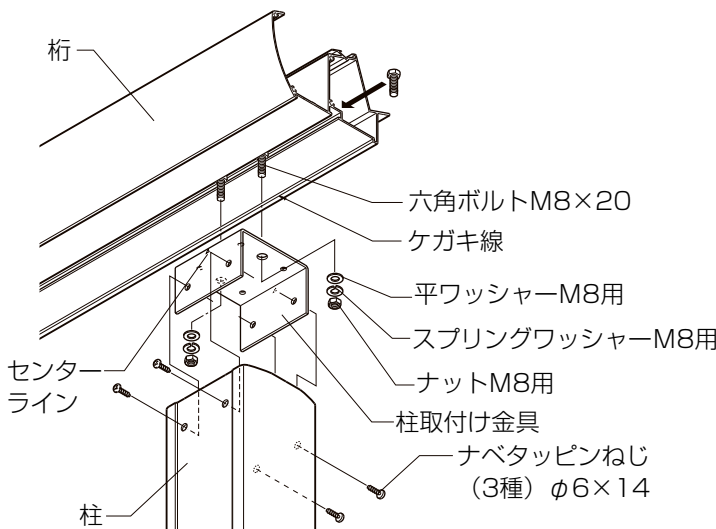
※桁の水抜き穴は1箇所です。あらかじめ雨どいの取付け位置を考慮して桁を取付けてください。

- ①桁のボルトホールに六角ボルトM8 $\times$ 20を挿入します。(柱1本につきボルト2本)
- ②桁と柱取付け金具をケガキ線に合わせて固定します。
- ③柱と柱取付け金具を固定します。

●51サイズ



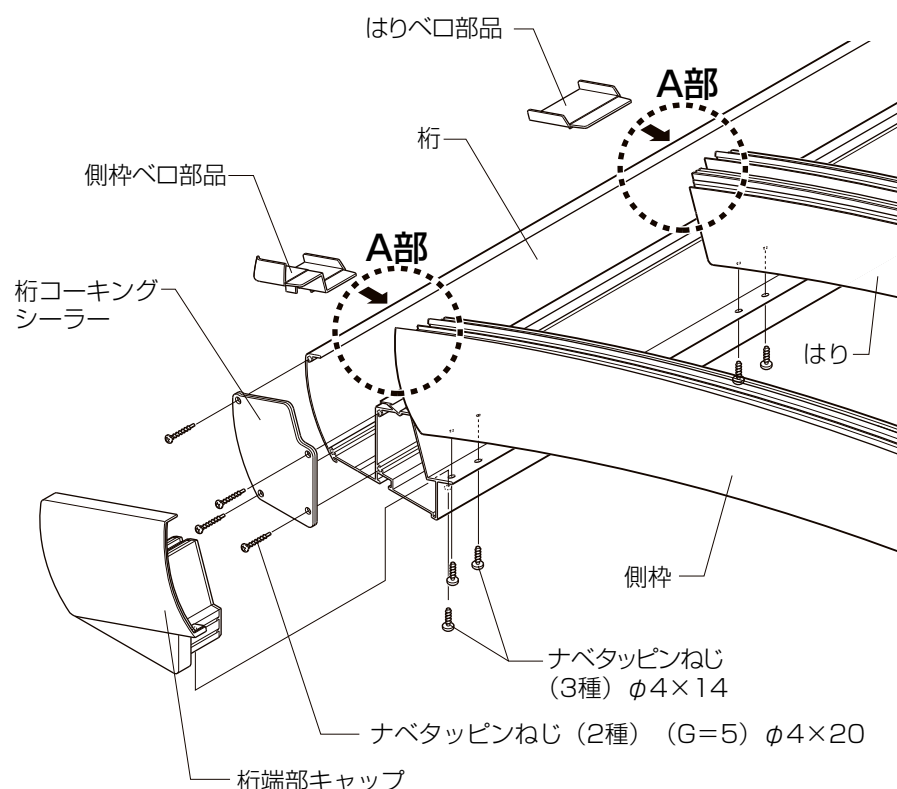
サイズ呼称	d	da
18	1800	1646.5
21	2100	1946.5



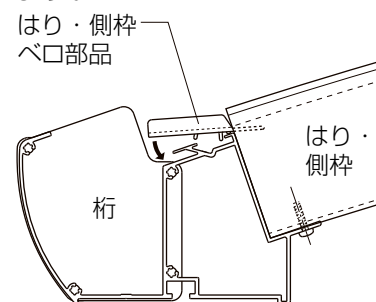
パネル押さえ

母屋

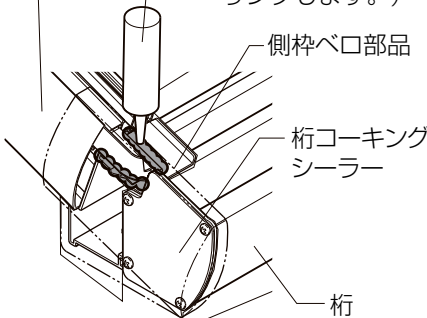
- ① 桁にはり・側枠を取付けます。
- ② はりにはりベロ部品、側枠に側枠ベロ部品を差込みます。
(A部詳細図参照)
- ③ 桁端部に桁コーキングシーラー、桁端部キャップを取付けます。
- ④ 枠の対角・水平・柱の垂直を出します。(対角が出ていないとアクリル板の音鳴りの原因になります。)



※側枠ベロ部品には左右があります。

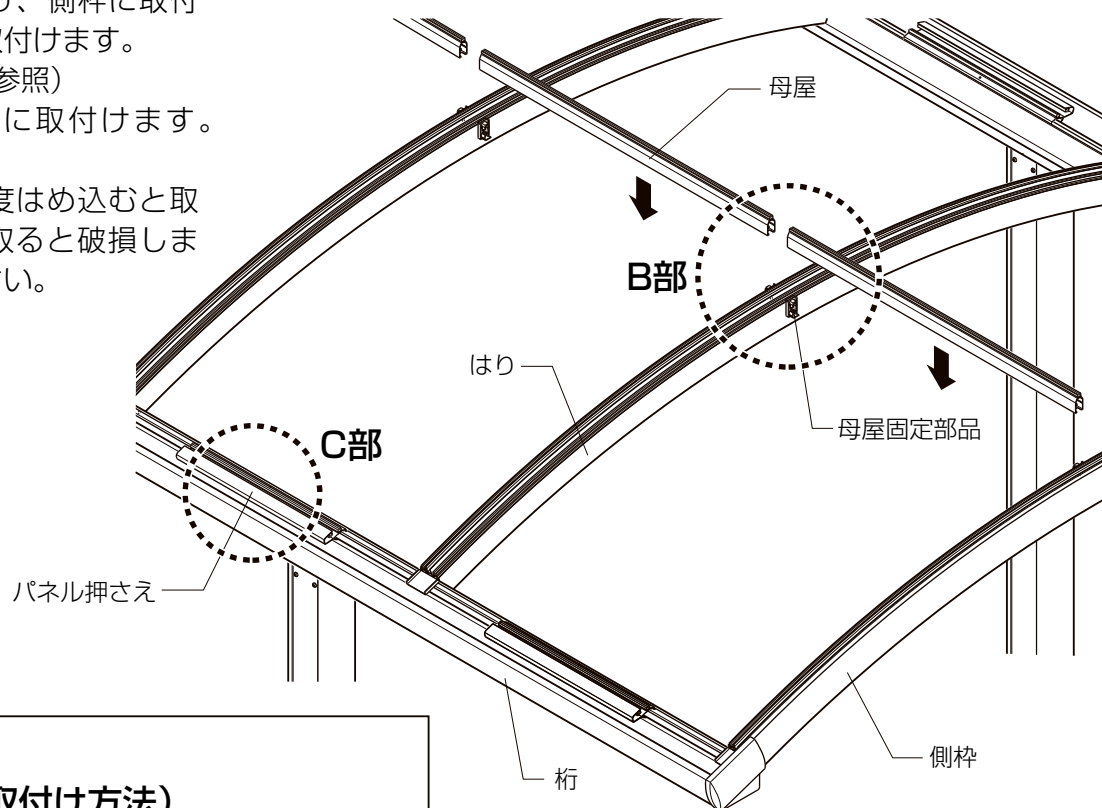


「側枠」
コーキング材
(側枠ベロ部品のみシ
ーリングします。)

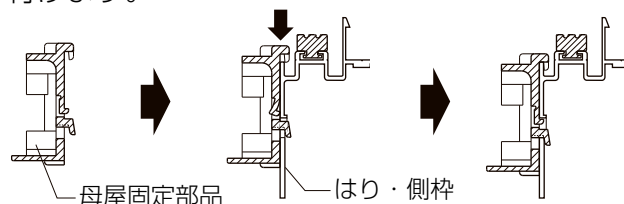


- ①母屋固定部品をはり、側枠に取付け、母屋を上から取付けます。
(B部詳細図-1、2参照)
- ②パネル押さえを桁に取付けます。
(C部詳細図参照)

※母屋固定部品は一度はめ込むと取れません。無理に取ると破損しますのでご注意ください。



※フィンを引っ掛けて上から落とし込みながら取付けます。

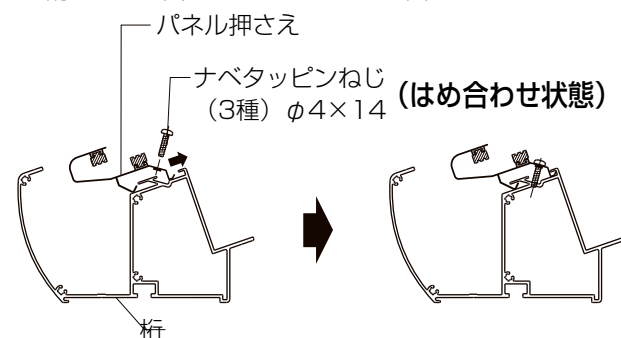


母屋

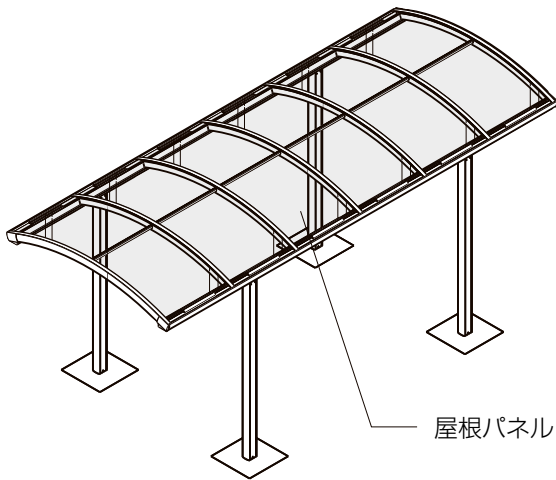
はり

母屋固定部品
※バチンと音が
するまで押込ん
でください。

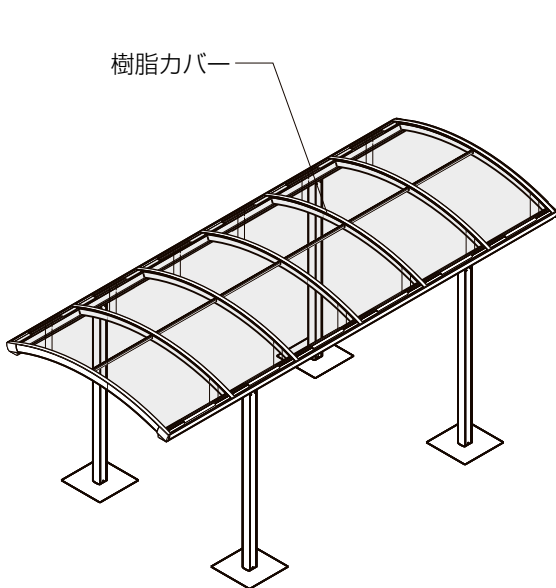
※桁とはめ合っていることを確認してください。



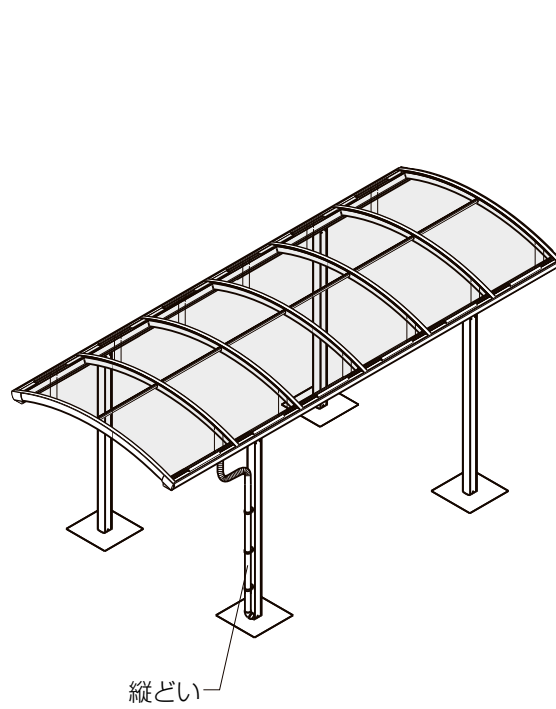
5 屋根パネルの取付け



6 樹脂カバーの取付け



7 縦どいセットの取付け

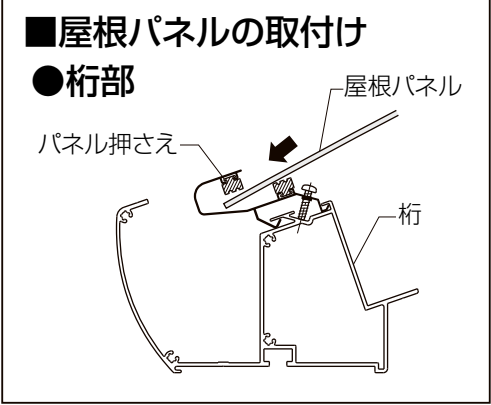


5 屋根パネルの取付け

- ①屋根パネルをパネル押さえのすき間に差込みます。
 - ②はり部ののみ込みを左右均等(17mm)にします。
- ※アクリル板がはりのアルミ部分に当たっていないことを確認してください。(音鳴りの原因になります。)

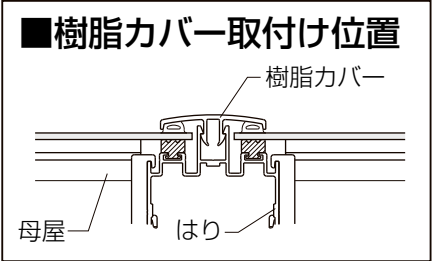
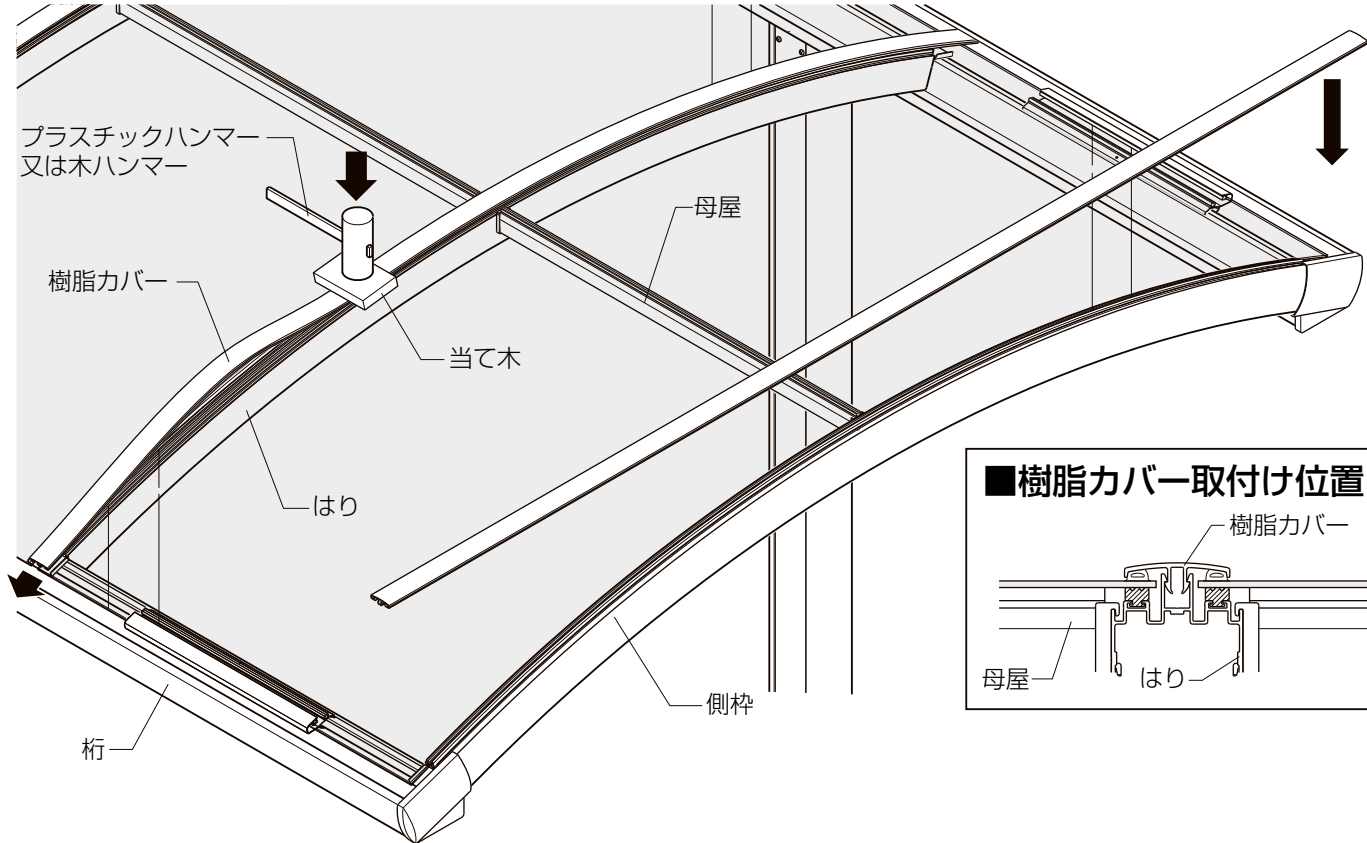
●屋根パネル寸法

サイズ呼称	W	ℓ
18	819	1745.5
21		2064.5



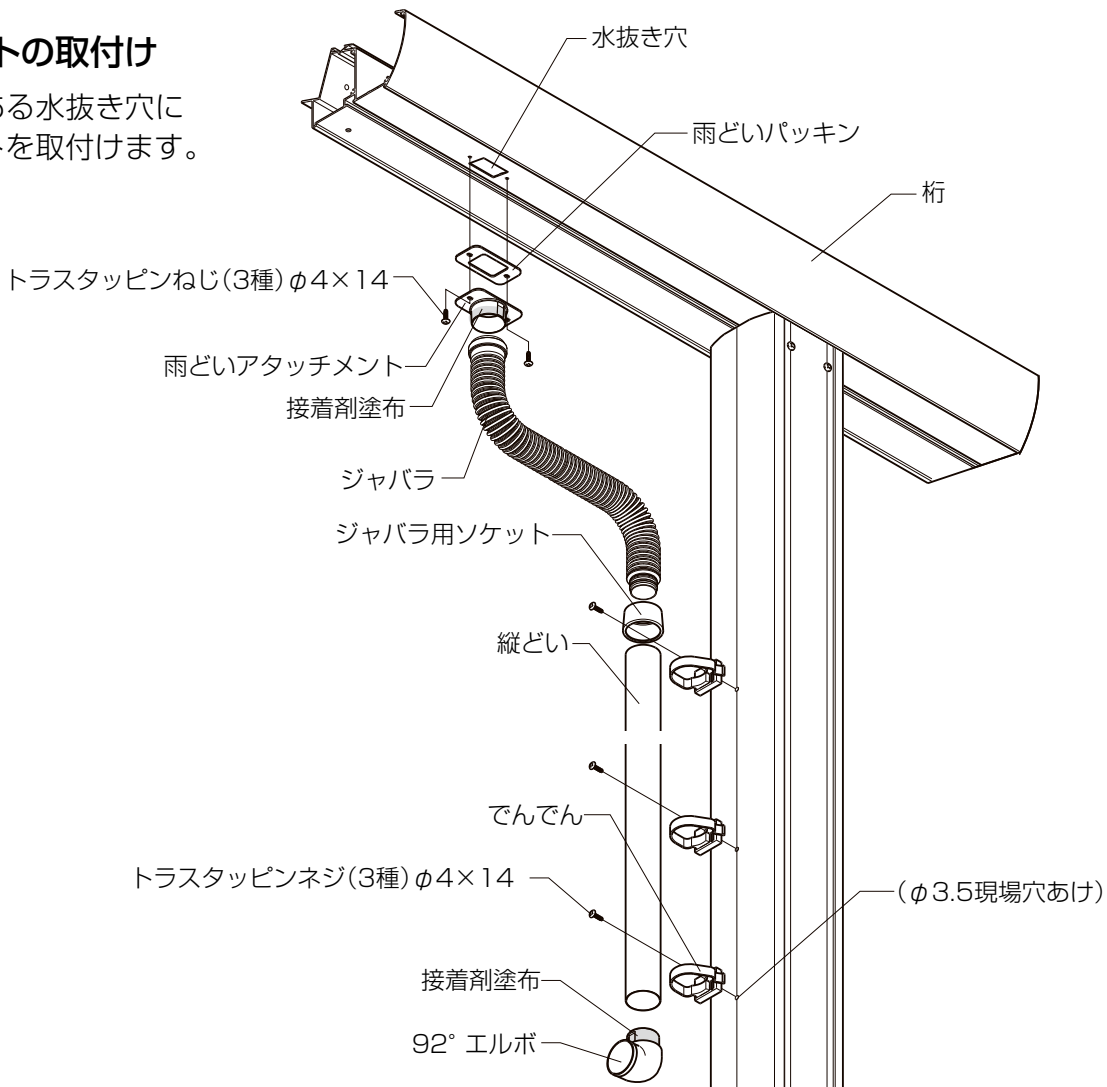
6 樹脂カバーの取付け

- 樹脂カバーで屋根パネルを固定します。
 - ①樹脂カバーの一方を桁のフィンに差込みます。
 - ②長さの3分の1程たたき込んだ後、もう一方の桁側を差込んでから全体をたたき込みます。
- ※必ず型材と樹脂カバーのはめ合せ位置がっていることを確認してください。
- ※必ず当て木をしてプラスチックハンマー又は木ハンマーでたたき込んでください。
- ※樹脂カバーの中央が少し凹むまでたたき込み、確実に取付いたことを確認してください。
- ※1度使用した樹脂カバーは再度使用できませんのでご注意ください。



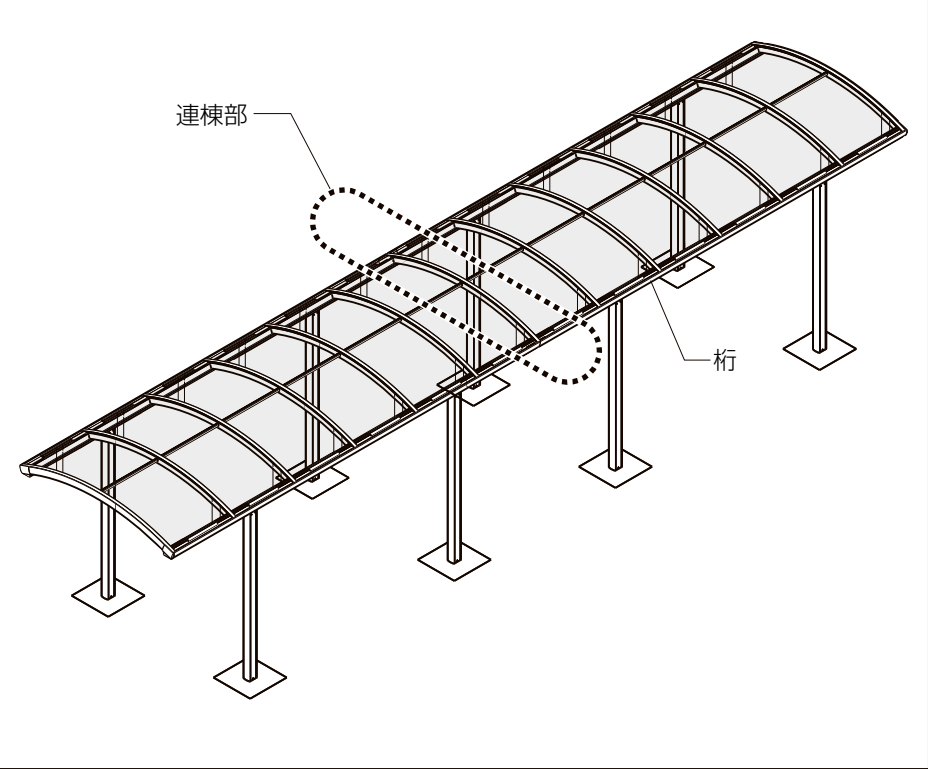
7 縦どいセットの取付け

- 桁の底面にある水抜き穴に縦どいセットを取付けます。



■取付け順序（縦連棟タイプ）

1基礎の施工

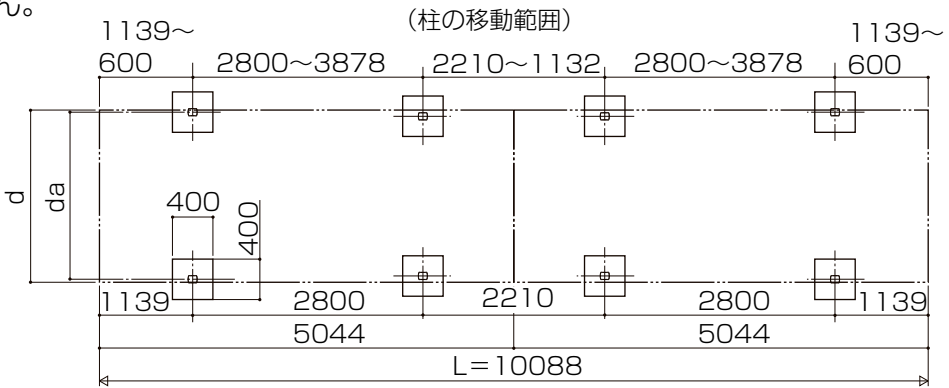
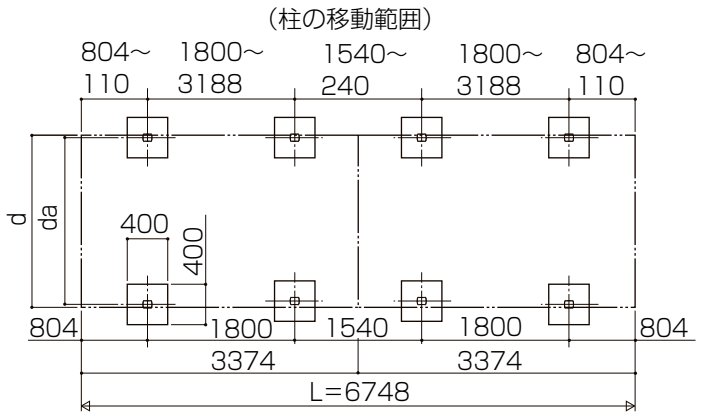


●柱埋込み位置を出し、柱基礎穴を掘込みます。

(単位：mm)

サイズ呼称	d	da
18	1800	1646.5
21	2100	1946.5

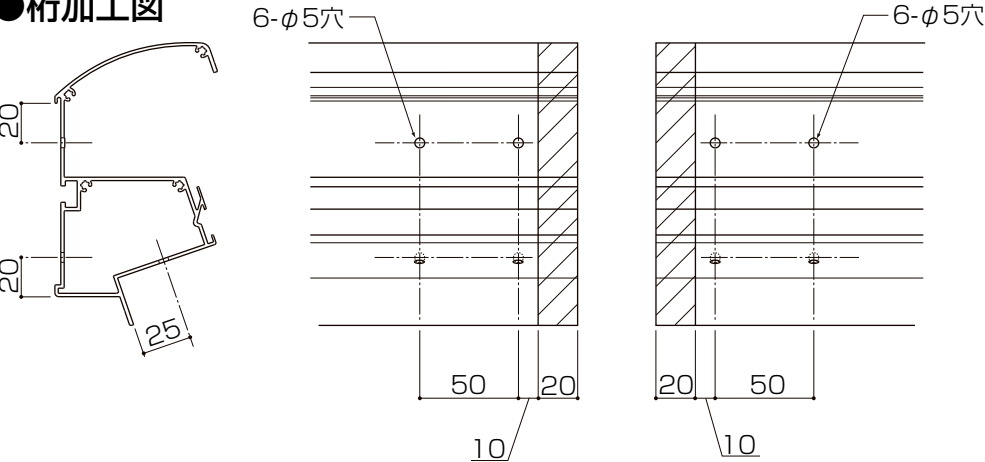
※屋根端部より、34サイズは411～597,51サイズは746～932の範囲は、桁水抜き穴と干渉するため、柱移動できません。



2縦連棟部の取付け

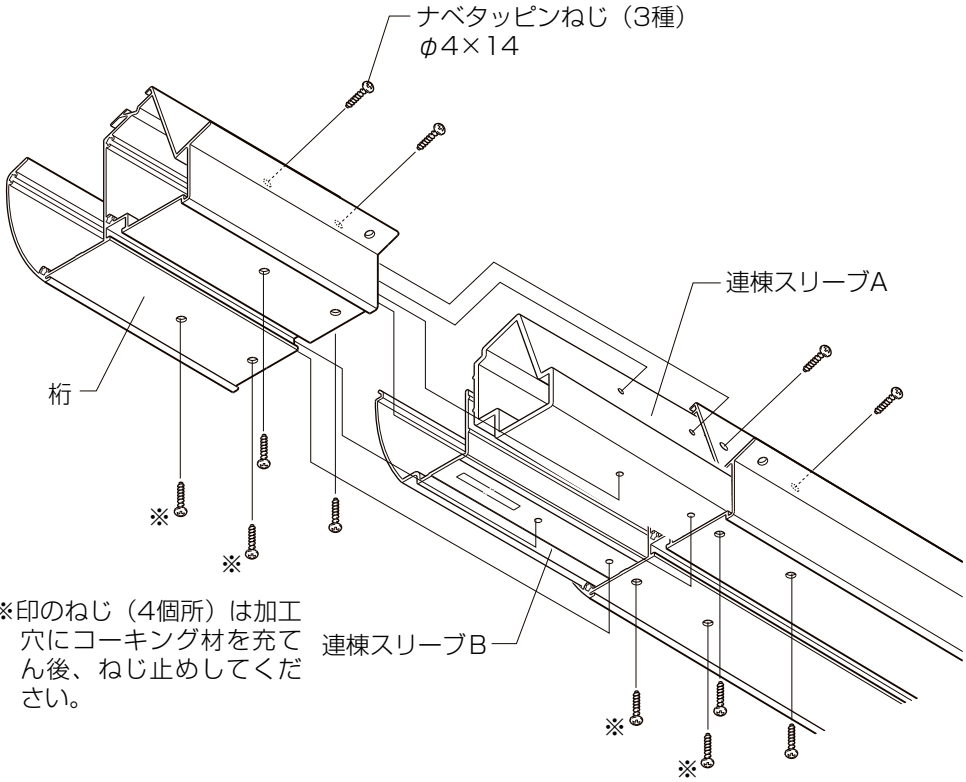
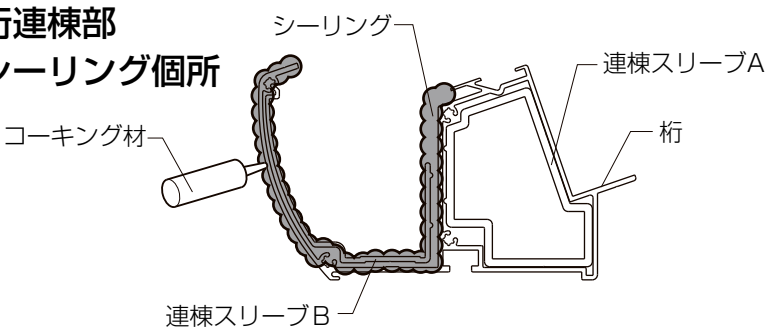
- ①下図にしたがって桁を加工します。
 - ②桁連棟部にコーキング材を充てんします。
 - ③連棟スリーブA、Bと桁を固定します。
- ※縦連棟部以外の取付けは基本タイプを参照してください。
※斜線部は現場切詰めしてください。

●桁加工図



■桁連棟部

シーリング箇所



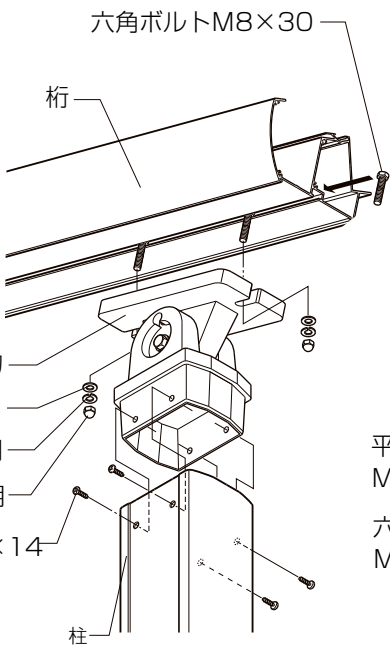
※印のねじ（4箇所）は加工穴にコーキング材を充てん後、ねじ止めしてください。

■取付け手順（傾斜タイプ）

※傾斜部についての組立て・取付けは、カルエードAP（傾斜用）取付け説明書をご覧ください。

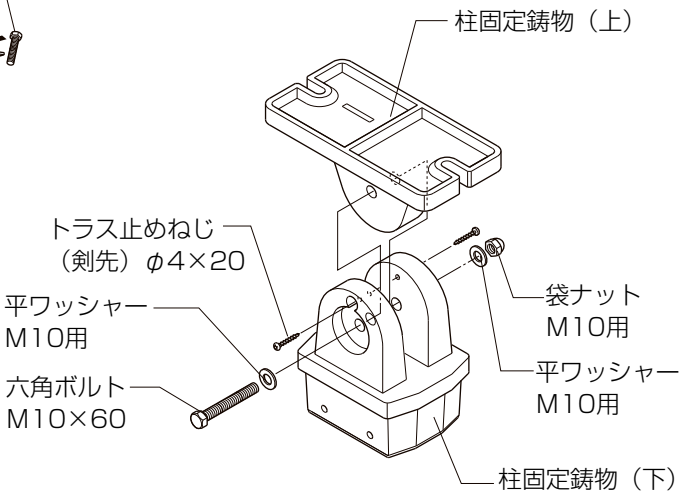
1柱の取付け

- ①柱固定鋳物（上）（下）を傾斜角度に合わせ、固定します。
- ②桁にあらかじめボルトを挿入しておき、柱固定鋳物と柱を固定します。



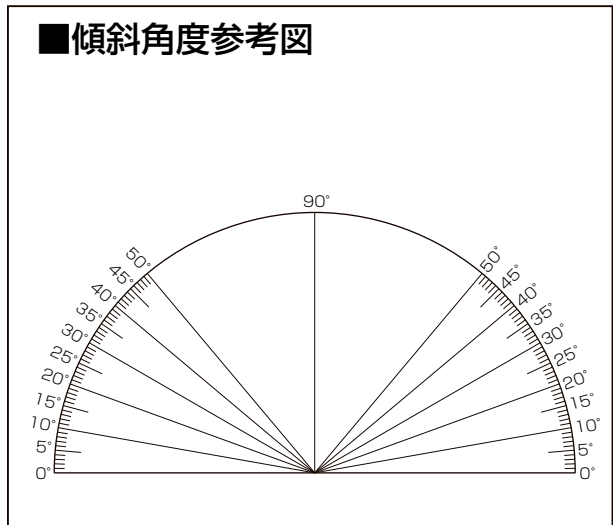
2柱固定鋳物（上）（下）の取付け

※柱固定鋳物（上）（下）は、傾斜角度参考図を参考に固定してください。

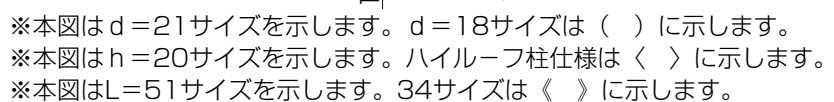


※屋根端部より、34サイズは376～632,51サイズは711～967の範囲は、桁水抜き穴と干渉するため、柱移動できません。

■傾斜角度参考図



■姿図
●基本タイプ



※本図はh=20サイズを示します。ハイルーフ柱仕様はく>にします。
※本図はL=34サイズを示します。L=51サイズは《>にします。

※本図はh=20サイズを示します。ハイルーフ柱仕様は〈 〉に示します。

※本図はh=20サイズを示します。ハイルーフ柱仕様は〈 〉に示します。

※本図はd=18サイズを示します。d=21サイズは（ ）に示します。
 ※本図はL=34サイズを示します。L=51サイズは《 》に示します。

※本図はh=20サイズを示します。ハイルーフ柱仕様は〈 〉に示します。
 ※本図はL=34サイズを示します。L=51サイズは《 》に示します。